

生物多様性とは

熊本県は、九州中央山地などの山岳地帯や阿蘇の雄大な草原、有明海の干潟や天草の島々など、豊かな自然環境に恵まれており、多種多様な動植物が生息生育しています。

このように様々な生物種がそれぞれの環境に適応し、いろいろな関係を持ちながら生存して多様な生態系を形成している状況を「生物多様性」と呼んでいます。

私たち人間は、一人ひとりに個性があり、家族や学校、職場などのいろいろな関係のなかで暮らしているように、生物も様々な関係のなかでつながりをもって生きています。また、私たちが生きるために必要な空気や食べ物などは、全て、他の生きものの働きによって生み出されており、これら多様な生物によって、私たちは生きていくことができるのです。



生物多様性がもたらす恵み

○生物が生み出す大気と水

私たちの呼吸に不可欠な酸素は、多様な植物の光合成によって創られてきたものです。また、植物からの蒸散などから水蒸気が発生し、雲の生成や降雨を通じた水の循環が生まれています。

阿蘇くじゅう国立公園

○暮らしの基礎

食料や木材など、暮らしに必要なものの多くは、水田、森林、海などから農林水産業によってもたらされています。また、生物の機能や形態情報を、医薬品の原材料や技術革新のアイデアとして利用しています。

米収穫の風景

○生物と文化の多様性

豊かな生物多様性に支えられた様々な食文化、工芸、芸能などは、豊かな生活の基盤であり、地域固有の財産です。

阿蘇神社の農耕祭事

○自然に守られる私たちの暮らし

森林の適正な管理や間伐などの整備によって、多様な生物が育まれるとともに水源かん養能力が高い森林が維持され、山地災害の防止や土壌流失防止、飲み水の確保が図られています。

間伐作業の実施